



# そうだ、雑談おじさんになろう ～非公式ボトムアップコミュニティの停滞期からの脱却～

**DNP**

未来のあたりまえをつくる。

2025年10月4日  
DNP情報システム  
近藤 久登

## 自己紹介

DNP

- 近藤 久登 Kondou Hisato
  - MXプロジェクト
  - DX事業本部DX開発部
    - グループ内システム開発保守運用
    - 工場内の生産・製造監視など
  - マネージャではない、地方拠点の開発者
  - 心理的安全宣言！
  - MX後の世界で開発者として生きる
  - 雑談おじさん **New!!**



### 心理的安全宣言！

この場での発言は、以下を保障します。

- ・ 拒絶しません
- ・ 非難しません
- ・ 遮りません
- ・ 怒りません
- ・ マイナス評価しません

この場では、以下のことを大事にします。

- ・ 我々は敵ではなく、仲間である
- ・ 我々は全員が同じ立場である
- ・ 発言することは素晴らしいことである

# 会社紹介

DNP

DNP大日本印刷



大日本印刷本社ビル

世界最大規模の総合印刷会社

DNP大日本印刷



DNP大日本印刷 ブランドステートメント

「未来のあたりまえをつくる。」

～社会課題の解決につながる新しい価値の創出に向けて～

印刷

P&I  
イノベーション

情報

## DNP大日本印刷のIT分野

DNPの“情報技術”を担う会社  
**Information Technology**

(株) DNP情報システム

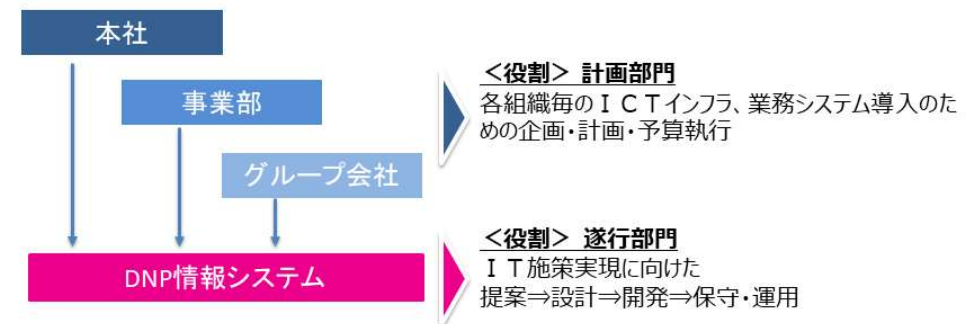
DNPグループの **ITエンジニア**



ITを使ったサービスを提供

## DNP情報システムの役割

### DNPグループのIT施策の実現のための役割分担



### DNPグループ向けのITソリューションを構築・保守・運用

- ・ 全社共通ICTシステム  
全社Portalサイト、電子メール、セキュリティ管理、認証認可基盤、ネットワークなど
- ・ 全社向け共通業務システム  
労務管理システム、経理・決算システム、海外共通ERPシステムなど
- ・ 各事業部門・グループ会社向けICT支援・管理  
リソース管理、PCセットアップ、LAN構築など
- ・ 各事業部門・グループ会社向け業務システム  
生産管理、営業支援、会計システムなど

# 今日お話すること・お伝えしたいこと

## 今日お話すること・お伝えしたいこと

- MXプロジェクトの大義
- MXプロジェクトの2年間
- 現状打破の作戦会議
- 雑談おじさん誕生
- 雑談おじさんになった結果
- 最後に

# MXプロジェクトの大義

## MXプロジェクトの大義

マネジメントを「管理」ではなく「セルフマネジメント」に変革するという目標を掲げる Management Transformation Project（MXプロジェクト）というコミュニティ活動です。

ここでいう「セルフマネジメント」とは、  
組織やチームがよりよい形になっていくために、目の前に立ちはだかる困難に対して、  
自分・自分達から”何とかする”という意味を含めています。





# MXプロジェクトの大義

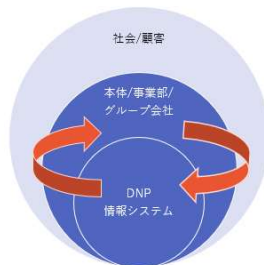
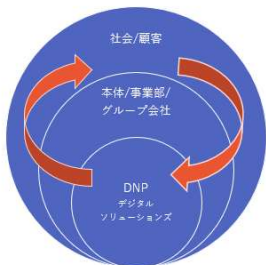
DNP

## 活動方針はこちら！

### DNP情報システムのコンテキスト

DNP

- DNPグループ内のシステム子会社の特性
  - DNPデジタルソリューションズ 事業部を通じて外の仕事をしている人が多い
  - DNP情報システム 情報システム本部や事業部の情報システム部門を通じて内の仕事をしている人が多い



- 環境（事業や組織の在り方やそこでのコミュニケーション）が文化をつくる
  - 心理学者レヴィンの関数  $\text{Behavior} = f(\text{Person}, \text{Environment})$  人のふるまいは環境と個人特性で決まる
  - （特に出典ないですが）  $\text{Culture} = \sum \text{Behavior}$  文化は人のふるまいの積み重ねで決まる

### DNP情報システムをよりよくしていくために

DNP

- 変えたいところ＝ときどき奥ゆかしさを感じる文化（を強化しやすい環境）
  - 社外と関わる必要性を感じる機会が少ない
    - 競合他社がないため、進化戦略上の弱肉強食が働きづらく、1種1強でESS状態
    - 外界(顧客や社会)との間に社内がワンクッション入れるので、変化の影響を直接受けづらい
  - 「守ること」が価値判断の上位にくる機会が多い
    - IT投資(コスト)に基づいた前提の企業活動であり、（貪欲に）利益を追求するようなビジネスモデルではない
    - 「利益を獲得するため」よりも「コストに見合った」「コストを削減するため」が先に来やすい
    - システムを「例外なく安全に使ってもらう/使わせる」ために規則や制限に比重をおく
    - セキュリティやリソース管理上の制約に従って安全な環境をつくるのがMUSTで、業務で十分に活用してもらおうのがNiceToHaveになりがち
    - 社外サービスだと顧客獲得では「気に入ってもらう」必要があるが、社内システムでは社内ルールとして使わせるなどその必要がない場合も多い
- もっと強めたいところ
  - 自律的に動いていく人は裁量を大きく持てる
  - スキルやセンスで前線を張れるタレントはいる（ので活躍の場を増やす）

奥ゆかしさがつくられやすい状況を大胆さが促進されるような状況に変えていけば  
オンリーワンの強みになるはず！

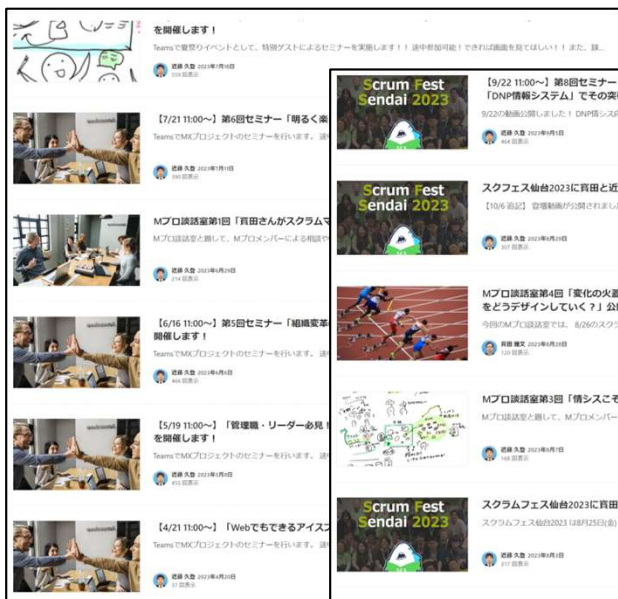
# MXプロジェクトの2年間

# MXプロジェクトの2年間

DNP

非公式かつボトムアップなコミュニティとして部活動的に組織に縛られず自由な発想で活動しています。

そのため、楽しく成長できる機会を提供できると信じて、遊び心と真剣さを両立させることをポリシーに、内外問わず様々なセミナーやイベントへも開催・参加しています。



## MXプロジェクトの2年間

これらの活動を通し、奥ゆかしくも凄腕の先輩エンジニアから

**今を過ごすだけで精いっぱいになってたけど、  
胸の奥が熱くなってきたよ**

というコメントもいただきました！

この勢いで奥ゆかしくも凄腕のタレントを目覚めさせ、自社の変革を加速させたい！！

そんな活動開始の1年目（2023年度）でした。



## MXプロジェクトの2年間

2023年度の活動1年目は破竹の快進撃ともいえる勢いでどんどん進んでいた実感があります。  
そして正念場となる2024年度の活動2年目は

## MXプロジェクトの2年間

2023年度の活動1年目は破竹の快進撃ともいえる勢いでどんどん進んでいた実感があります。  
そして正念場となる2024年度の活動2年目は

「で、このあと何やればいいかな？」的なムードが漂い、  
本業の忙しさやタイミングの合わなさなども相まって停滞期に入っていました・・・。



## MXプロジェクトの2年間

停滞期の状況をあえてご紹介します

- 毎週の定例会で次のアクションが出てこない  
⇒ セミナーのネタ切れ、新たな施策思いつかない・・・
- 社内セミナーの参加者が増えない（というか減ってる・・・）  
⇒ セミナーに参加しても本業ですぐには役に立たないという声
- MXプロジェクトのチーム（Teams）が運営側からの告知のみ  
⇒ 意識高そう（＝敷居高そう）だからチームへの参加や発言が控えめ



## MXプロジェクトの2年間

停滞期の状況をあえてご紹介します

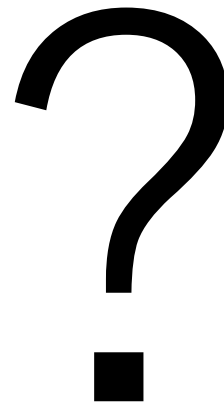
- 毎週の定例会で次のアクションが出てこない  
⇒ セミナーのネタ切れ、新たな施策思いつかない・・・
- 社内セミナーの参加者が増えない（というか減ってる・・・）  
⇒ セミナーに参加しても本業ですぐには役に立たないという声
- MXプロジェクトのチーム（Teams）が運営側からの告知のみ  
⇒ 意識高そう（＝敷居高そう）だからチームへの参加や発言が控えめ

このままでは遠からず活動終了の未来が見えてきた・・・

このままでは終われない、なんとかせざるを得ない







## MXプロジェクトの2年間

停滞期の状況をあえてご紹介します

- 毎週の定例会で次のアクションが出てこない  
⇒セミナーのネタ切れ、新たな施策思いつかない・・・
- 社内セミナー  
⇒セミナー  
このキーワード、どこかで聞き覚えが・・・
- MXプロジェクト  
⇒意識高まる

このままでは遠からず活動終了の未来が見えてきた・・・  
このままでは終われない、なんとかせざるを得ない



パタン

**DNP**

Medio-passive Commitment Driven Community Management

### 中動態的コミットメント駆動コミュニティ運営

#### 状況

ときにコミュニティでは存続や存在意義の確立のためにやるべきことをやるときがくる

#### 問題

とはいえゼロから大きな判断や力強い行動を自分（たち）から意識的にやるのは難しいものだ

#### 解決

それを選択する/せざるを得ない状況に持っていく、身を置く

**「せざるを得ない状況」**は大言壮語であるほど自分（たち）への誓約になりやすい

スクラムフェス仙台2023

社外コミュニティ活動の環境が整っていなかった「とある情シス子会社」でその突破口を開くまで より抜粋

パターン

DNP

Medio-passive Commitment Driven Community Management

### 中動態的コミットメント駆動コミュニティ運営

状況

ときにコ

すでに通った道、楽しんで突破してきた壁じゃないか！！  
解決策もある、それならやることは決まったよね

問題

とはいえゼロから大きな判断や力強い行動を自分（たち）から意識的にやるのは難しいものだ

解決

それを選択する/せざるを得ない状況に持っていく、身を置く

「せざるを得ない状況」は大言壮語であるほど自分（たち）への誓約になりやすい

スクラムフェス仙台2023

社外コミュニティ活動の環境が整っていなかった「とある情シス子会社」でその突破口を開くまで より抜粋

## MXプロジェクトの2年間

DNP

XP祭り2024にて、XPのエッセンスを取り入れた公開作戦会議を実施！

### XP祭りでMX実践会！エクストリームに"MX"していくための公開作戦会議セッション

♥ 8

festival:祭り

Accepted

Talk

45 Mins

Beginner

CLONE

TRANSFER

REQUIREMENTS

UPDATE



**Masafumi Takarada**  
Manager, ScrumMaster  
DNP情報システム

Online

Sep 28th 01:00 - 01:45 PM JST

Trac F

3 Interested

「エクストリームプログラミング(XP)とは社会変革のことである」のひとことが世に放たれた頃、私はとある情報システム系子会社で基幹システム刷新（いわゆる汎用系からオープン系へのシフト）からエンジニアとしてのキャリアを始めていましたが、リアルタイムでXP（ないしはアジャイル）のムーブメントの起こりに身を投じていたわけではなく、プログラマーとしての矜持が芽生えることもなく、ただただ目の前の仕事をなんとなく、それが社会人としての仕事であることに疑いもなく「そういうものだ」とこなしていたような気がします。

それからずっと同じ会社にいながらも、今は「Management Transformation」を掲げて非公式ボトムアップからの「社会変革」を成すことを、サイドワークでありながらも（むしろサイドワークであるからこそ）自分を費やすのに十分以上の意義や意味を見出しており、苦境に対峙する自分（たち）のアクションの結果やフィードバックに一喜一憂する日々を過ごしています。

それは、「Management Transformation」を「MX」と表現し、複雑適応系におけるイチ要素が自分の目的に従って、あるいはその意思すらなくあるがままに気の赴くままにただ周りといったずらに相互作用することによって自発的な秩序を形成して（が形成されて）個々の機能や振る舞いだけでは説明できない凝集された何かあるいは調和された何かという創発をもって複雑な状況に立ち向かえるようにする、そんなイメージを私自身の自分勝手に利己的な目的にしながらMXプロジェクトという場（部活動的コミュニティ）の「1人目」として運営をリードしているような日々です。

そんなMXプロジェクトとしての活動のひとつに、まだ生まれたてながらも「MX実践会」というコンテンツがあります。

XPもそうですが、私たちの周りには次々と（その時点において）新しい言葉や考え方やフレームが現れますが、それをいざ自分の現場で実践しようとすると、意味がわかっていない衝動を最小限に抑え、ために現場のコンテキストに合わせ、必要なスキルや能力を必要とあり、たいていはそれに習得され

## MXプロジェクトの2年間

DNP

終わらなかったなので、社内で作戦会議の続き（録画を社内で公開）

The screenshot displays a Miro collaborative workspace titled "2024/09/28 公開作戦会議セッション". The interface includes a sidebar with navigation options like "自己相似性", "機会", "責任の受け入れ", "改善", "冗長性", "多様性", and "失敗". The main workspace is filled with yellow sticky notes organized into columns. The notes include:

- 語る男、2人組問題
- 楽観できるメリット高い問題
- 入口をつくる
- たのしそう
- しらない
- かつての ValueFactory
- 本業とは別の部活動
- 現場で試してみる人
- 金銭と解決性をつくる
- はなしやすい
- しっているけど自分には関係ない
- 2024/09/28 公開作戦会議セッション
- いいことがある

On the right side, there are two video thumbnails. The top one shows a man with the name "近藤 久登" (Kondo Kiyotaka) below it. The bottom one shows a woman with the name "真田 雅文" (Maeda Masafumi) below it.

# 現状打破の作戦会議

## 現状打破の作戦会議

セミナーなどを実施しても、新規の参加者が増えず、参加後の変革に繋がる動きを起こす人も増えない。

**人が集まってアクションが起きるようなムーブメントにならない**

なぜアクションに繋がらない・・・？



## 現状打破の作戦会議

セミナーなどを実施しても、新規の参加者が増えず、参加後の変革に繋がる動きを起こす人も増えない。

**人が集まってアクションが起きるようなムーブメントにならない**

なぜアクションに繋がらない・・・？

**過去に爆発的なムーブメントが起きた事例、あったよね？**

過去、人が集まってアクションを起こした事例を思い出そう

### “ValueFactory”という蜜月と衰退

- (おそらく) 初のボトムアップの変革の取り組み
  - アイデアをピッチして自由にチームを組んでハッカソンの的にプロダクト開発
  - プロダクトのスコップは本業の事業ドメインに限定しない
  - オフィシャルな活動予算をつける
  - 自由意志で参加し、活動方針もチームが自分たちで決める
  - 会社はスポンサードだけで指示は出さない
- 当時の状況に起因する期待 (や不満) にミートして爆発的な盛り上がりを見せる
  - チームビルディング、社内カンファレンス、開発合宿、ビアバッシュ、外部の方を招いての講演/ワークショップなど



スクラムフェス福岡2024

変化を巻き起こせ！「とある情シス子会社」で非公式ボトムアップのコミュニティを起点に共鳴する3人のストーリー より抜粋

## 現状打破の作戦会議

「ValueFactory」はどんどん人が集まってムーブメントが起きていた  
「MXプロジェクト」はなかなか人が集まらずムーブメントが起きない

この違いはどこにある・・・？

## 現状打破の作戦会議

「ValueFactory」はどんどん人が集まってムーブメントが起きていた  
「MXプロジェクト」はなかなか人が集まらずムーブメントが起きない

この違いはどこにある・・・？

ValueFactoryへの参加動機（近藤の場合）

- ・ 停滞した技術のままではだめだという危機感
- ・ 人間関係を広げたい
- ・ すごく楽しそう

活動の目的は違えど、MXプロジェクトにも当てはまるテーマはあるように思える

## 現状打破の作戦会議

- ・ **停滞した技術のままではだめだという危機感**  
⇒ 現状に危機感や何か思いはあるけど、一人でスキルの幅を広げるのは難しい
- ・ **人間関係を広げたい**  
⇒ イベントや研修で意見交換する機会でもない限り、人間関係を広げることは難しい
- ・ **すごく楽しそう**  
⇒ 普段の業務が使命感や義務感だけでは楽しさを感じるタイミングは少ない

ここにMXプロジェクトの新たな活路があるのでは？

MXプロジェクトを基点として、知ってる人話したことある人を増やすことはできるはず

公式なイベントや研修では重いテーマの「ディスカッション」になりハードルが高いが、  
非公式なコミュニティ活動の強みを活かし、ハードルのない本当の「対話」を実現できる

MXプロジェクトを基点として、知ってる人話したことある人を増やすことはできるはず

公式なイベントや研修では重いテーマの「ディスカッション」になりハードルが高いが、  
非公式なコミュニティ活動の強みを活かし、ハードルのない本当の「対話」を実現できる

# よし、雑談しよう！！

# 雑談おじさんの誕生



# 雑談企画 説明会

**DNP**

未来のあたりまえをつくる。

2024年11月7日  
DNP情報システム 近藤 久登

## なぜ雑談なのか？

何かに悩んだり、行き詰ったり、誰かの意見を聞きたい時、人間関係の広さがそのまま仕事の成果に繋がるということはよくあります。

にもかかわらず、人間関係を広げる場やきっかけが少ないという現状があります。

大小さまざまなイベントはありますが、人が多かったりイベントのテーマをハードルに感じ、参加をためらう人も多くいます。



## なぜ雑談なのか？

そんな現状に対して、MXプロジェクトが用意した答えの一つが「**雑談**」です！  
雑談することで、気軽なコミュニケーションの場を提供し、手軽で簡単に人間関係を広げるきっかけ作りをしたいと考えています。

様々な人が雑談を通して知り合い、気楽な会話ができる人間関係が作れたならば、仕事を含めた色々な相談もしやすくなるはずです！



## なぜ雑談なのか？

DNP

「現状で何ができるか」を根底とする思考法である「エフェクチュエーション」にある5つの原則の中に「クレイジーキルトの原則」があります。

様々なものを組み合わせることで、新しい価値を作っていくという原則です。

人間関係を広げていくことは、まさにこのような原則にもあてはまる仕事上でも非常に重要なことなのです！

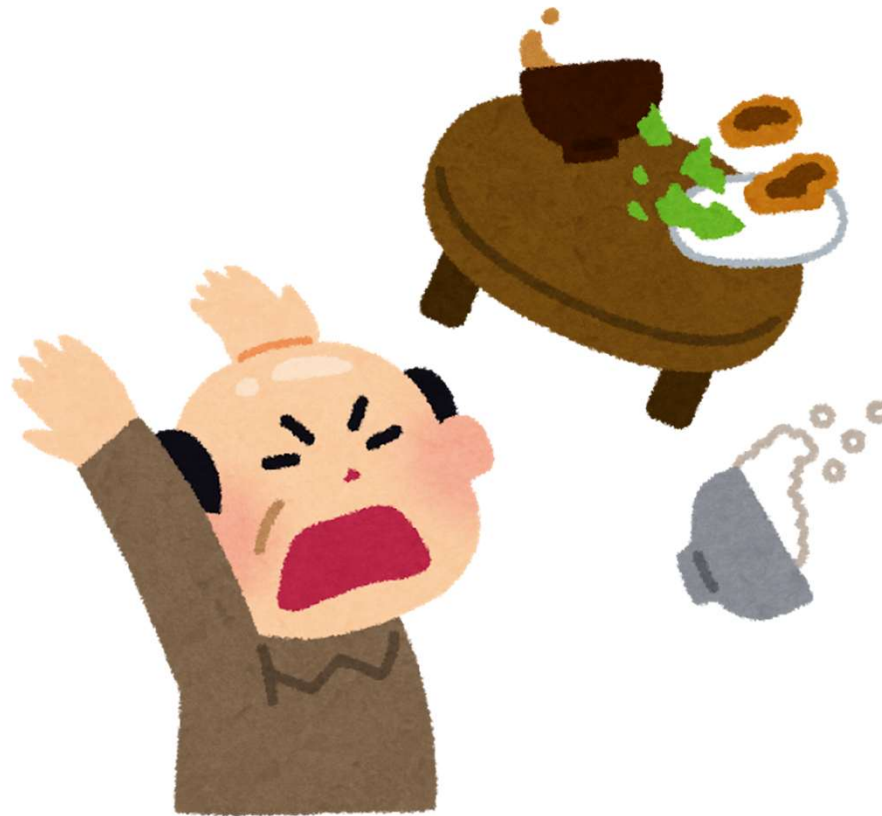


[https://honto.jp/ebook/pd-series\\_B-MBJ-20142-125884034-001-001.html](https://honto.jp/ebook/pd-series_B-MBJ-20142-125884034-001-001.html)

なぜ雑談なのか？

DNP

なんて言われて知らない人と簡単に雑談できるわけないだろ！！



なぜ雑談なのか？

DNP

なんて言われて知らない人と簡単に雑談できるわけないだろ！！



そんなあなたのための雑談企画なのです！

## MXプロジェクトの雑談企画

雑談企画として、MXプロジェクトは以下の場を用意しました！

- ・ レンタル雑談おじさん
- ・ 知ってる人話したことある人増やそう会
- ・ 雑談おじさんの部屋

## レンタル雑談おじさんとは

DNP

雑談しましょうと言われても、いきなり知らない人と会話するのはハードルが高いです。  
なので、あらかじめプロフィールが公開されていて会話内容も指定可能な雑談相手を用意することで、最初の一步を踏み出しやすくしたいと考えました。

それが、「レンタル雑談おじさん」なのです！  
※親しみやすさと覚えやすさと遊び心から名付けました

誰でも30秒で依頼できます！！

### レンタル雑談おじさんのレンタル依頼

30分程度近藤と雑談したい方は回答をお願いします。  
回答いただいたら直接チャットにて日程調整させていただきます！  
レンタル雑談おじさんの狙いや趣旨はこちらをご参照ください！

こんにちは、久登。このフォームを送信すると、所有者に名前とメールアドレスが表示されます。

1. 何か話したい話題などあれば教えてください！

回答を入力してください

送信



# レンタル雑談おじさんとは

## プロフィールページ！

### レンタル雑談おじさんの紹介



近藤 久登

レンタル雑談おじさんのプロフィールを公開します！

【名前】 近藤 久登

【所属】

DNP情報システム システム第4本部システム第3部（広島福山オフィス）  
MXプロジェクト

【簡単な経歴】

専門学校でゲーム開発のプログラミングを学び、  
社会人になってからもずっとプログラマー・SE。  
2018年2月にDNP情報システム中途入社。  
人前や知らない人と話すこと・自分から行動することが苦手だったが、  
中途入社後のとある経験によりモチベーションと心理的安全性の高い場の実現を目指し、  
MXプロジェクト参加～レンタル雑談おじさんになる。

【話せる雑談テーマ】

ゲーム、アニメ、ロードバイク（自転車）、育児、プログラミング、デスマーチ、  
広島県福山市、経歴に関する話など  
※トークスキルは高くないので、スキルアップにご協力ください



## 知ってる人話したことある人増やそう会とは

雑談相手を指定する「レンタル雑談おじさん」に対して、  
雑談テーマを指定する「知ってる人話したことある人増やそう会」も開催予定です。

雑談テーマを決めて開催日程をアナウンスし、集まった人と雑談する会となります！

※テーマ例：「育児」「テニス」「ロードバイク」「アジャイル」など

集めるだけ集めて「さぁどうぞ！」という感じではなく、ワークショップに近い形態で、  
MXメンバーが進行と雑談にも参加し、全員で簡単な自己紹介と雑談する流れとなります。

ここで一緒に過ごした人は今後「知ってる人・話せる人」となります！！

## 雑談おじさんの部屋とは

ふらっと立ち寄って雑談する場を「雑談おじさんの部屋」として用意しております。

「雑談おじさんの部屋」では、近藤が空いた時間にTeams会議を実施します。

休憩室や喫煙所など、たまたま居合わせた人が軽く雑談できる場をイメージしており、出入り自由・会話・チャットするのも自由、人のいる空気を感じたい人やなんとなく誰かと出会いたい人歓迎！！

もちろん、Teams会議開始も自由です！



## 最後に！

**DNP**

雑談を通して人間関係を広げることは、いずれ「対話と協働」を深めてオールDNPの総合力を発揮することにも繋がります。

本企画を通して「対話と協働」をMXプロジェクトも支援し、DNP全体の活性化を目指します。

最後に！

雑談を通して人間関係を広げることは、いずれ「対話と協働」を深めてオールDNPの総合力を発揮することにも繋がります。

本企画を通して「対話と協働」をMXプロジェクトも支援し、DNP全体の活性化を目指します。

**という大義名分は用意しました！！**

一人ずつでも知らない人と話ができる！人間関係が広がる！  
そんな体験を、ぜひ一緒に楽しみましょう！

# 雑談おじさんになった結果

## 雑談おじさんになった結果

- ・ レンタル雑談おじさん

⇒申し込みは少しずつあり、話してよかった！他の雑談企画にも参加したい！と言ってくれる人もいます。

- ・ 知ってる人話したことある人増やそう会

⇒参加者が徐々が増えており、中にはMXプロジェクトを介さず話をするようになった、という人もいます。

- ・ 雑談おじさんの部屋

⇒最初は3時間誰も来ずに終了ということも多々ありましたが、最近は毎回1人以上来てくれるようになりました。

## 雑談おじさんになった結果

MXプロジェクトを基点として、人と人の繋がり作る土台はできあがりました！  
そのうえで、以下のような相乗効果も生まれてきました。

- ・ MXプロジェクトの目標などに共感してくれる人がいる
- ・ 知らない人同士が繋がり、相談相手ができた
- ・ 1対1で話すと熱い想いを抱いている人もおり、コラボでイベントできるかも
- ・ 雑談の中で色々な企画のアイデアが生まれた



## 雑談おじさんになった結果

気になるテーマについて「雑」に話し合う雑語り会も誕生！

行動に繋げることを目的にするのではなく、今後の選択肢を増やすことを目的に、内容の理解やアプローチ方法をざくばらんと話しています。

- ・ アンコンシャスバイアス実践に向けた雑語り会
- ・ 管理職の悩みから新しい可能性を引き出すアプローチ雑語り会
- ・ ニューロダイバシティの理解とアプローチ雑語り会

また、「雑にやる」という活動も誕生！

真剣になりすぎず遊び心で楽に考えたり、いいと思ったら手早くやる、といった活動も実施しています。

- ・ 匿名アンケート結果を雑談おじさんが読み上げるラジオ
- ・ 重いテーマ（自組織の変革など）を真剣さと遊び心の両方から考えるワークショップ

最後に

雑談おじさんになってから、運営としても参加者としても活動することができるようになりました。  
今まで一方通行の発信がメインだったため、参加者の声は感想としてしか聞くことができていませんでしたが、  
直接会話することをメインにすることで、より身近になり色々な話を聞くことができるようになりました。

雑談自体は業務やMXプロジェクトに直接結びつくことではありませんが、人脈は大きな力になります。  
身近な活動をすることで、直接の相談や社内企画のオファーなど、思いがけない出会いもありました。  
何かしたいけど足踏みしている人も多く、色々な知見や経験を話すことで発信する人も中には出て来てくれたので、  
MXプロジェクト本来の目的も少しずつ果たせているように思います。

私自身の力になり、さらに関わってくれる人達の力にもなれる、雑談というツールが大きすぎる！  
ぜひ皆さんも雑談しましょう！



未来のあたりまえをつくる。

**DNP**

「未来のあたりまえをつくる。」はDNP大日本印刷の登録商標です。